

2023年3月8日(水)第二水曜祈祷会

詩篇12篇1～8節

「約束のみことば」

### 【詩篇11篇の概略】

- ①迫害の中にあつて、ダビデは主こそが真の守りであり、わが隠れ場であると告白している。
- ②悪しき者は友人のふりをして、鳥のように、自分の山に飛んで行け(逃げよ)と勧めてくる。
- ③困難が私たちを取り囲むときも、私たちは主に身を避け、御顔を仰ぎ見ることができる。

### 【詩篇12篇・観察と黙想】 人の言葉と神の言葉の対比が描かれている

#### 1. 救助を求める叫び(1～4節)

- ①著者はなぜ「主よ、お救いください」と叫び求めているのですか。  
→
- ②「むなしいこと」、「二心」、「へつらいの唇」、「傲慢の舌」は何を表していますか。  
→
- ③「だれが われらの主人なのか」(4節)とは具体的にどういうことですか。  
→

#### 2. 神の約束のことば(5～6節)

- ①「苦しむ者」「貧しい者」のために主はどのように答えてくださいますか。  
→
- ②「求める救いに入れよう」とはどういうことを意味していますか。  
→
- ③「混じりけのない」「純化された銀」(6節)は何を表していますか。  
→

#### 3. 信仰による確信(7～8節) \*「銀」…当時は炉に入れて不純物を取り除いた。

- ①「主よ、あなたは彼ら(われら)を守られます。…保たれます。」とはどういう告白ですか。  
→
- ②「今の代」(7節)とはどういうものですか。  
→
- ③「悪しき者が いたるところで横行している」状況を、神はどのように見ておられますか。  
→

### 【適用と分かち合い】

- ①私たちは「主よ、お救いください」という切なる求めがありますか。
- ②私たちは「今、わたしは立ち上がる」という主の助けを信頼していますか。
- ③私たちは「主よ、あなたは我らを守られます」という確信がありますか。